

各事業の評価内容や結果については、町ホームページで公表しています。皆さんも評価結果をしっかりとチェック！



今年度の評価結果
27年度は下表のとおり180事業について評価が行われました。
内部評価では、このうち、148事業について「計画通り進める」と判定し、32事業が「改善検討」または「抜本的見直し」となりました。
政策評価委員会による外部評価では、「改善を伴う継続」とされたのは1事業で、「休・廃止検討」とされた事業はありませんでした。

今年度の評価結果



政策評価の結果（平成27年度）

内部評価判定基準	一次評価	二次評価	最終評価
計画通り進める	155 事業	148 事業	148 事業
改善検討(事業費)	2 事業	2 事業	2 事業
改善検討(事業内容)	16 事業	15 事業	15 事業
改善検討(その他)	7 事業	13 事業	13 事業
抜本的見直し	0 事業	2 事業	2 事業
合計	180 事業	180 事業	180 事業

外部評価判定基準	評価
拡充して継続	0 事業
現状通り継続	2 事業
改善を伴う継続	1 事業
縮小して継続	0 事業
休・廃止検討	0 事業

- ◆政策評価委員(任期2年)
委員長 端 師孝
副委員長 鈴木克典(北星学園大学教授)
委員 金崎行男、巽 優和、西岡政則(栗山青年会議所推薦)、村中京子



外部評価

町民目線によりよい事業を！
政策評価委員会が報告書を提出

政策評価委員会は、「教育」「医療・保健・福祉」「産業」の分野から選定した3事業について報告書をまとめ、昨年12月9日、町に提出しました。
委員会は10月から6回にわたり開催。評価における基礎学習や実施方法の検討、評価対象事業の事前学習会とヒアリングを行い、有識者委員である北星学園大学の鈴木克典教授の助言を受けながら、事業内容の把握に精力的に取り組みました。
端委員長は「町民目線を大切にしながら評価を行いました。これからのまちづくりの一助になれば」と述べ、花田正博副町長は「いただいた評価を政策に生かしていきます」と感謝しました。
今後、委員会では最終内部評価や予算編成状況などを確認し、次年度の評価に向けて準備が進められる予定です。

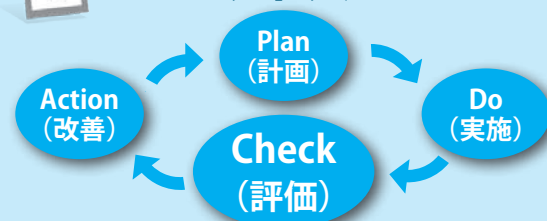
政策評価

町では、総合計画の施策目標に基づき実施する計画事業の進捗状況や現状の課題、成果などを評価・検証し、次年度への改善につなげる政策評価を平成20年度から実施しています。このほど、平成27年度の政策評価結果がまとまりましたので、実施概要とあわせてお知らせします。

◆問い合わせ 町経営企画課地域政策グループ ☎ 73-7502



PDCA サイクル



計画(plan)、実施(do)、評価(check)、改善(act)を順に実施。このプロセスを循環することによって、継続的な改善活動を推進するマネジメント手法のことを指します。

評価で事業を改善
政策評価は、町長、副町長、事業担当課による自己評価を行う「内部評価」と町民目線の客観的な評価と提言を行う「外部評価」により進められます。
年度の半期を終えた9月までの事業実施状況に対する評価として11月までに行われ、12月から始まる次年度の予算編成や、新規施策の企画立案にいかされます。
継続的に事業を改善し、PDCAサイクル(左図参照)による実効性のある事業を展開していくために欠かせない仕組みです。

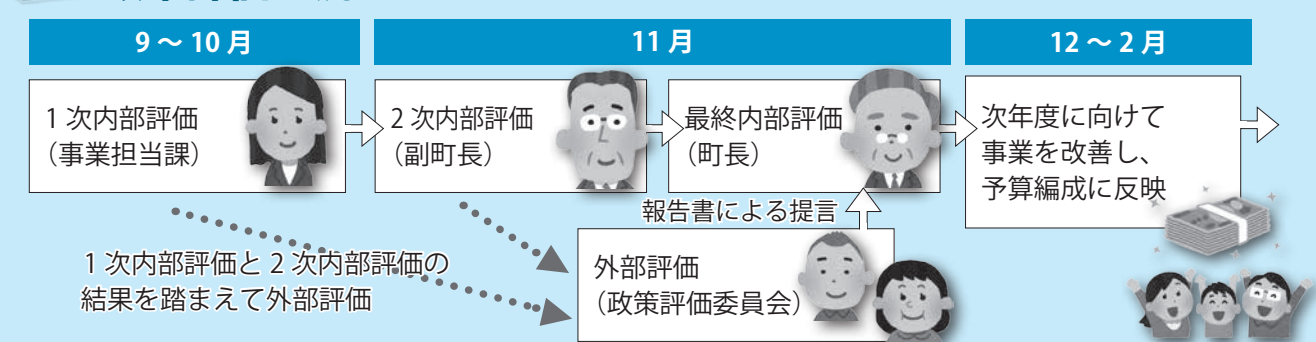
評価で事業を改善

評価の流れ
政策評価の対象は、平成27年度からスタートした、まちの最上位計画「第6次総合計画」に位置付けられている事務事業です。
始めに一次内部評価として、事業担当課が事業ごとに設定した活動指標および成果指標の実績を把握します。次に、前年度の評価で出た改善内容や現状の課題を検証し、今後の実施方針を提示したうえで、判定を決定します。
続いて、二次内部評価では、副町長が一次内部評価結果を踏まえ、改善が必要であると判断された事業などを対象に事業担当課へのヒアリングを行い、判定を決定します。
一方、外部評価では、公募町民などで構成される政策評価委員会が特に関心の高い事業を選定し、一次内部評価や二次内部評価の結果も踏まえながら、町民目線で評価を行います。また、判定と改善策の提案などを報告書にまとめ最終評価前に町長へ提言します。
最終内部評価では、町長が二次内部評価と外部評価の結果を踏まえ、特に検討を要する事業を対象に最終的な判定を決定します。

評価の流れ



政策評価の流れ



栗山ダムパークゴルフコース

【指定管理者】クリーンセンター 株式会社



【選定理由】

近隣におけるパークゴルフ場やプレイヤーの高齢化など利用者減が進む中、初心者を対象とした講習会の開催、パークゴルフ協会や町内連合会、さらには近隣パークゴルフ協会を巻き込んで大会を開催するなど創意工夫を凝らしたさまざまな事業実施による利用者拡大への取り組みに期待できる。



社会体育施設 12 施設

スポーツセンター・総合グラウンド・栗夢広場・栗山運動公園・ふじスポーツ広場・ふじ交流センター・町民球場・栗山公園球場・栗山公園弓道場・栗山水泳プール・角田水泳プール・継立水泳プール

【指定管理者】株式会社 スイテック



【選定理由】

常に利用者目線での管理運営を心掛け、アンケートなどに対応し、月曜休館日の開館や夏季期間の祝日開館などが提案があり、利用者サービス向上の取り組みに期待できる。

民間の技術・経営ノウハウの活用、また、それぞれの施設管理に必要な研修や資格取得など、適正なスタッフの配置・人材活用について具体的に提案されており、今後の施設の効率運営および快適な環境整備に期待できる。

いきいき交流プラザ

【指定管理者】
社会福祉法人
栗山町社会福祉協議会



【選定理由】

施設運営を行うために必要となる老人クラブ連合会などとの連携体制が構築されており、また事業拡大を目指す姿勢と介護予防や高齢者の生きがいの場づくりなど、地域で支え合う仕組みづくりを推進する取り組みに期待できる。

勤労者福祉センター

【指定管理者】
栗山地区連合会



【選定理由】

これまで独自に取り組んだ施設修繕や自主事業の実施による利用者拡大の取り組みなど、適正かつ効率的な施設の管理運営に期待できる。



図書館

【指定管理者】
特定非営利活動法人くりやま



【選定理由】

各種事業の継続実施に加え、さらなる司書の専門性向上の取り組み、また、町内関係団体との連携による委託事業の適正な実施と新たな自主事業の提案など、より町民に親しまれる図書館運営に期待できる。



28年4月からの 指定管理者

決定しました

昨年10月に募集した公募22施設と非公募3施設の指定管理者が、昨年12月17日の議会定例会で議決されました。平成28年4月1日から平成33年3月31日までの5年間、各管理者が以下の施設の管理運営を行ってまいりますのでお知らせします。

今後も町民の皆さん、指定管理者、町が連携し、より効果的な施設運営と利用者サービスの向上を図るさまざまな取り組みを展開していきます。

【問い合わせ】町経営企画課行政経営グループ ☎ 73-7503

社会教育施設など7施設

くりやまカルチャープラザ・南部公民館・南部地区町民センター・農村環境改善センター・農村環境改善センターテニスコート・開拓記念館・泉記念館

【指定管理者】株式会社 日東総業



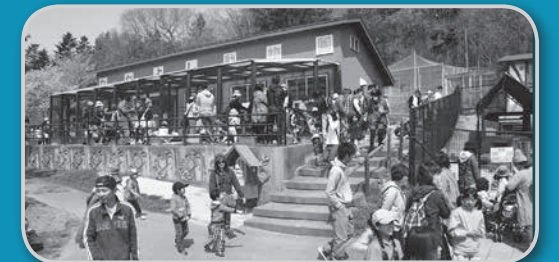
【選定理由】

これまでの指定管理者としての経験における現状分析とそれを踏まえた事業展開の具体的な提案があり、今後の利用者拡大に期待できる。

地域住民の意見を取り入れ、「長期講座」の開催など新たな事業の企画提案があり、地域に開かれた施設運営、そして経費の縮減を徹底して最大の効果を目指す取り組みに期待できる。

栗山公園・夕張川河畔広場

【指定管理者】たかはしダリア



【選定理由】

栗山公園・ホワイトガーデンだけでなく、町全体の観光案内窓口という意識の高い取り組みや公園案内所・案内看板・園内インフォメーションマップの作成など、利用者の目線に立った取り組みにより、さらなる利用者サービスの向上に期待できる。

花専門店としてのノウハウの活用や、スタッフの適正配置およびスキルアップ教育の徹底により、迅速な対応を心掛けており、子どもから高齢者まで安心して利用できる施設環境づくりに期待できる。



小・中学校の統廃合に伴い、スクールバスを導入し現在6コースで運行中

要望 角田市街地在住の中学生の通学手段として、バス運行を改善できないでしょうか。継立地区の生徒は、利便の良い専用のスクールバスがありますが、角田市街地の子どもたちにはスクールバスがありません。一般のバスの本数も少なく、親の自家用車での送迎に頼らざるを得ないのが現状です。親の送迎が不可能な場合はトラックの多い国道を40分歩いて下校しています。角田市街地へのスクールバス運行、もしくは継立スクールバスへの同乗、あるいは一般バスの増便などを検討願います。(40代女性)

回答 民間バスや町営バス 町では現在、学校統合により遠距離通学することとなった校区の児童生徒を対象としてスクールバスを運行しています。これにより、栗山中学校に通学している生徒のうち、継立地区の生徒については、継立中学校統合によるスクールバス運行となっています。角田地区については、旧杵臼小学校が角田小学校に統合する校区の生徒のみが対象となり、市街地は対象外となっています。また、スクールバス対象者を増やすことになった場合、現在利用している生徒の通学時間が大幅に伸びる可能性や、バスの乗車定員を超える問題が出てくるのが予想されます。民間バス・町営バスにつきましても、全体の利用ニーズを考慮する必要があるため、すぐに増便することは難しい状況です。現在、栗山中学校から角田市街地に向けた学校下校時間(午後3時から7時まで)の民間バス・町営バスは10本運行しています。これらをご活用いただけますようお願いいたします。



公園遊具は年次計画に基づき、順次更新を実施

質問 さくら公園の遊具修理の予定は？ さくら公園(松風3)の鉄棒を直す予定はありますか。1年近く壊れたままになっています。ほかの遊具の補修も併せてお願いできたら大変うれいです。自宅に近く、子どもたちを連れてよく遊びに行くので、来年は鉄棒をさせてあげたいです。(40代女性)

回答 来年度の実施を予定 公園の遊具などの更新については、平成25年より年次計画で順次実施しています。ご質問のさくら公園の鉄棒は、平成28年度に更新する予定となっています。

皆さんからのご意見お待ちしております！

①広報折り込みの専用はがきで！

2カ月に一度広報に折り込まれる専用はがきを切り取ってご利用ください。必要事項を記入してポストに投函してください。(切手不要)

②FAXで！

はがきをそのまま、またはお好きな用紙に必要事項を記入して、『72-3179』に送信してください。



③ホームページ専用フォームで！

下記アドレスから <https://www.harp.lg.jp/SksJuminWeb/EntryForm?id=SfQnm4ig> または町ホームページトップ画面の注目情報(画面右側)から専用フォームにアクセス

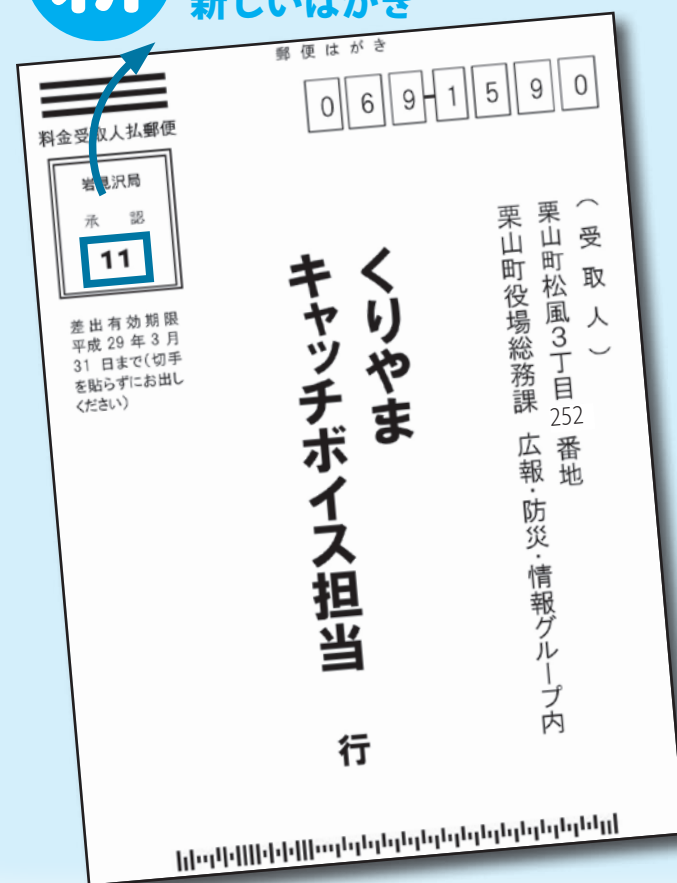
■あなたの声をしっかりキャッチ！ 1枚のはがきが明日のくりやまを変える！



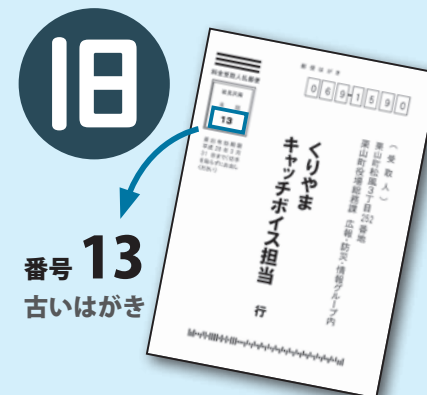
**くりやま
キャッチボイス**

【問い合わせ】 町総務課広報・防災・情報グループ ☎ 73-7501

新 番号11 新しいはがき



はがきを更新しました 町民の皆さんのまちづくりに対する疑問や意見などをうかがう「くりやまキャッチボイス専用はがき」を更新しました。広報くりやま1月号まででお届けしたはがき(切手を貼る場所に13と印刷)の使用期限は、今月末までとなります。今回、広報くりやま3月号に折り込んだはがき(切手を貼る場所に11と印刷)は、使用期限を更新したものです。次回投書からは、新しいはがきをご使用ください。



旧 番号13
古いはがき

※使用期限は平成28年3月まで



回答 可動式のためポケット設置は不可 多目的ホールの観覧席はさまざまな事業に活用するため可動式となっています。そのため、座席背面にポケットなど新たな付属品を設置すると可動の際の故障原因になりかねません。ご提案のようなポケット設置はできませんので、ご理解願います。



多目的ホールでは講演会など、さまざまなイベントを実施

提案 カルチャープラザの観覧席にポケットを カルチャープラザ多目的ホールの観覧席に不便を感じます。立ち上がると椅子が閉じってしまう作りのため、講演会などで配布された資料やかばんなどを置いておくことができません。前の座席の背もたれにポケットがあると便利だと思えます。(80代男性)

